

# WaveLab 6.01 built 304

## 改良点

- ファイルへのアクセスなど全体的なパフォーマンスを改善しました。
- “選択範囲を無音化 (Silence)” : 新たに“Insert until cursor”モードが加わりました。オーディオデータの後部に無音データを付加するモードで、これはオーディオ編集画面のカーソルがオーディオの終了位置 (破線) を超えるとアクティブになります。無音データを付加したい位置までカーソルを移動して、“適用 (Apply)” ボタンをクリックしてください。オーディオのデータ量はその分増加します。
- “ユーザー設定 (Preferences)” / “ファイル (File)” タブ : オプション“Default sample rate for files without header”が追加されました。ヘッダ情報のないファイルをどのサンプリングレートで開くか予め指定できます。
- “ライブ入力 (Live Input)” 機能が再び搭載されました。

## 修正点 :

- “自動分割 (Auto split)” : フェードオプションのオン/オフが機能しない不具合を解消しました。
- 内部遅延のあるプラグインをクリップまたはトラックで使用したモニタージュでレンダリングすると生じる不具合を解消しました。
- “モニタージュ (Audio Montage)” : クリップのエフェクトを変更したにも関わらず、前のエフェクトのエフェクトエンベロープが削除されずに残ってしまう不具合を解消しました。
- ピークファイルを作成する際にたまにエラーメッセージが表示される不具合を解消しました。
- MP2書き出しの際のレートに関する不具合を解消しました。
- “自動一括処理 (Batch process)” : ピッチシフトをDIRACモードで使用した際に、ファイルの長さが変わる不具合を解消しました。
- WMAファイルの書き出し : 設定したものと異なる結果になる不具合を解消しました。
- “スマートバイパス (Smart bypass)” とプラグイン“Resampler”は同時使用できないのですが、その旨を知らせるエラーメッセージが表示されるようになりました (以前はエラーメッセージが表示されずたまにクラッシュしていました)。
- オーディオウィンドウ : たまにモノセグメントのペーストが正常に行われぬ不具合を解消しました。
- “モニタージュ (Audio Montage)” : 再生しながらプラグイン“Ducker”を使用したクリップを他のトラックに移動するとクラッシュする不具合を解消しました。
- “モニタージュ (Audio Montage)” : マーカーと共に複数のクリップをコピーすると、マーカーの組み合わせが異なる不具合を解消しました。
- “特殊オーディオを属性指定して読み込む (Import special Audio file)” で2GB以上のファイルを読み込めるようになりました。
- “レベルエンベロープ (Level envelope)”、“エフェクトのモーフィング (Effect morphing)”、“ピッチバンド (Pitch bend)” : “滑らかなエンベロープ (Smooth envelope)” を使用した際に、クリップ音が生じる不具合を解消しました。
- “モニタージュ (Audio Montage)” : “色の設定 (Color)” が保存されない不具合を解消しました。
- AES31の読み込み : モノトラックに関連したいくつかの不具合を解消しました。
- “モニタージュ (Audio Montage)” : “全トラック編集 (All-Tracks)” メニューの“カーソル地点で分割 (Split at cursor)” で複数のクリップを分割した際に、“新規クリップに規定フェードを作成 (Create default fades in new clips)” が反映されない不具合を解消しました。
- “フォルダ (Folders)” : “WaveLab起動時にこのフォルダを選択 (When opening WaveLab, set this folder)” が機能しない不具合を解消しました。
- 複数のオーディオ一時フォルダの使用が改良されました (より早く処理できます)。
- “External Gear” : 理由もなくエラー表示される不具合を解消しました。
- その他いくつかの不具合を解消しました。

## WaveLab 6.00b built 291

### 修正点：

- Resamplerプラグインを使用し、レンダリング／プレイバックをおこなった場合、VSTエフェクトがクリックノイズを発生する症状を解消しました。
- マスターセクションスペクトラムプロセッシング:EchoまたはNaturalVerbプラグインが正常に機能しない不具合を解消しました。
- Page Up/Page DownキーやHome/Endキーが正常に機能しない不具合を解消しました。
- 波形編集／無音の挿入：いくつかの不具合を解消しました。
- マスターセクションのメーターを調整しました。
- 拡張子“vox”が常に表示されない不具合を解消しました。
- マスターセクション：モノファイルに特定のVSTプラグインをかけて再生すると、クラッシュする不具合を解消しました。
- “モニタージュ（Audio Montage）”：“Ctrl + →”と“Ctrl + ←”のショートカットキー（クリップの端から端へナビゲートします）が正常に機能するようになりました。
- オーディオウィンドウが非アクティブでもF6（選択範囲を再生）が機能するようになりました。
- “モニタージュ（Audio Montage）”：複数のフェードを同時に編集した場合に生じる不具合を解消しました。
- WMA書き出しの際のビットレートが設定したものと微妙に異なる不具合を修復しました。
- バッチプロセッサ：Loudness Normalizerプラグインを使用した際に生じるエラーを修復しました。
- “モニタージュ（Audio Montage）”でVSTプラグインを開いた際に生じる不具合を解消しました。
- オーディオファイルのヘッダにサイズゼロのメタデータがはいっていた場合、開けない不具合を解消しました。
- シングルクリップのレンダリングが時々行えない不具合を解消しました。